

# 兵庫県水産技術センターだより

## 貝毒情報(アサリ) KD-01-38号

令和元年6月19日発行

プランクトン及び貝毒検査を6月13日～19日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・貝毒検査の結果、洲本で採取したアサリから麻痺性貝毒は検出されませんでした。また、各海域の海水中の原因プランクトンも注意を要する密度未満でした。

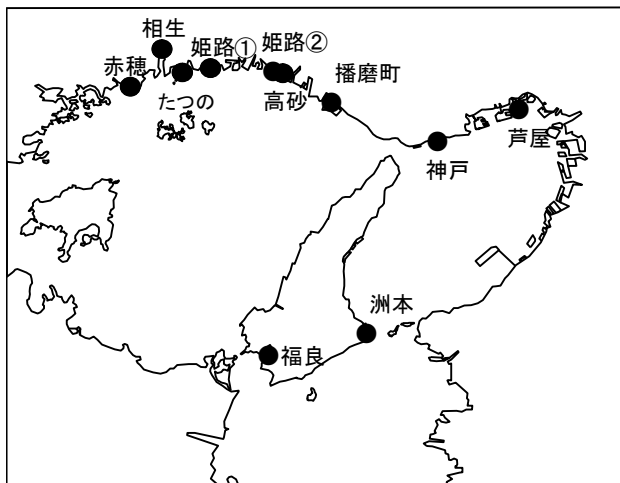
・今回の調査結果で、国の定めた基準(3回連続規制値以下)を満たしましたので、兵庫県の大阪湾・紀伊水道(淡路市～南あわじ市)を含めて本県沿岸域におけるアサリの出荷自主規制等はすべて解除となりました。



### 【検査結果】

年月日(採水・採取)		検査なし	検査なし	検査なし	検査なし	検査なし	R1.6.17	検査なし	検査なし	検査なし	R1.6.13	R1.6.13
地点(St.)		赤穂	相生	たつの	姫路①	姫路②	高砂	播磨町	神戸	芦屋	洲本	福良
アサリの毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性 貝毒	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	検査なし 規制なし	ND 規制解除	検査なし 規制解除
	麻痺性貝毒原因プランクトン (個数/mL)	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i>	/	/	/	/	/	0	/	/	/	0
アレキサンドリウム カテナラ <i>Alexandrium catenella</i> ※類似種を含む		/	/	/	/	/	0.40	/	/	/	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン (個数/mL)	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i>	/	/	/	/	/	0	/	/	/	0	0
	ディノフィシス アクミナータ <i>Dinophysis acuminata</i>	/	/	/	/	/	0.02	/	/	/	0	0

※NDとは、検出限界以下のことです。



<規制の基準> 可食部の毒量が、  
麻痺性貝毒:4マウスユニット/g  
下痢性貝毒:0.16mg オキサ酸当量/kg }を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>  
・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)  
アレキサンドリウム タマレンセ  
*Alexandrium tamarense* 5 個数/mL 以上  
アレキサンドリウム カテナラ  
*Alexandrium catenella* 50 個数/mL 以上  
・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)  
ディノフィシス フォルティ  
*Dinophysis fortii* 50 個数/mL 以上

【今後の情報予定】 調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

### § お問い合わせ先 §

・貝毒による規制等に関すること：兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室 (担当：漁場整備班)

Tel:078-341-7711 (内 4163、4164)

・貝毒調査に関すること：兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当：水産環境部 中桐・宮原)

Tel : 078-941-8602

Fax : 078-941-8604

Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>